

報告1 平成22年度妻木晩田遺跡発掘調査成果

2区東側丘陵

調査方針	調査結果及び調査状況
<ul style="list-style-type: none">トレンチ調査を行い、墳丘墓が東側に広がるのかを確認。	<ul style="list-style-type: none">遺構は確認されず、2区の東側へ広がらないことが判明。

2区北東側丘陵（A地点）

遺構名	指導内容	指導に対する結果及び調査状況
S3	<ul style="list-style-type: none">面的に調査を行い、内容を明らかにする。	<ul style="list-style-type: none">遺構、遺物は出土せず、自然地形であることが判明。

2区北東側丘陵（B地点）

遺構名	指導内容	指導に対する結果及び調査状況
S6	<ul style="list-style-type: none">南北のトレンチで周溝を確認する。	<ul style="list-style-type: none">層位の確認を行うため、トレンチ南側で断ち割りを行ったところ、S5との境で、幅2.2m、深さ40cmの溝状の遺構を確認。古墳の周溝の可能性が考えられる。
S7	<ul style="list-style-type: none">面的に調査を行い、土壙（坑）の広がりを確認する。	<ul style="list-style-type: none">土坑1基を確認（SK1:3.5×1.5m）。SK1は検出面から中期後葉の土器の小片が出土しているが、形状が不整形であることから、墳墓の可能性は低い。